

令和7年度事業報告

1. 概要

今年度は、学生募集の強化、教育体制の整備、国家試験合格実績の向上を重点課題として運営を行った。

学生募集（令和8年度74期生）においては、午後は、昨年度より多くの入学者を確保したが、午前は、昨年度を下回る結果となった。募集活動としては、進学動向の変化がある中で、デジタルマーケティングを積極的に推進した。

教育面では、学校運営委員会を設置し、組織的な教学マネジメント体制を構築するとともに、カリキュラム改革、臨床実習の改善準備等、中長期的な教育の質向上にも着手した。

国家試験対策では、模擬試験や補講の充実、問題集の整備等に取り組み、その結果、現役合格率95.1%、総合84.5%と全国平均を大幅に上回る成果を達成した。

また、学年担任制の導入や面談体制の強化、就職支援の充実等、学習面・生活面両面から支援体制を整備した。

令和7年度は、教育の質向上と組織運営の質を高めた年度となった。今後は、課題である入学者の確保に向け、募集施策のさらなる強化と教育成果のさらなる向上に取り組んでいく方針である。

2. 学生に関する事項

(1) 令和7年度学生在籍の動向

		令和7年4月	退学・除籍	令和8年3月	留年増減	転部増減	令和8年4月
1年 (73期)	午前	58	7	51	1	1	56
	午後	41	7	34	1	0	45
	夜間	8	0	8	1	-1	
	合計	107	14	93	3	0	101
2年 (72期)	午前	48	7	41	1	0	51
	午後	35	4	31	0	0	33
	夜間	22	5	17	1	0	8
	合計	105	16	89	2	0	92
3年 (70期)	午前	44	4	40	6	-3	43
	午後	43	2	41	7	-6	32
	夜間	45	1	44	9	9	34
	合計	132	7	125	22	0	109
総合計		344	37	307	27	0	302

(2) 令和7年度学生募集に関する事項（3ヶ年比較）

①コース別 1学年入学時在籍者数

* () 内は女子

	午前	午後	夜間	合計
令和8年度 74期生	54 (17)	44 (16)		98 (33)
令和7年度 73期生	56 (15)	36 (7)	8 (3)	100 (25)
令和6年度 72期生	53 (15)	42 (16)	17 (3)	112 (34)

②コース別 受験者数

* () 内は合格者数

	午前	午後	夜間	合計
令和8年度 74期生	56 (56)	49 (47)		105 (103)
令和7年度 73期生	68 (60)	30 (36)	7 (9)	105 (105)
令和6年度 72期生	56 (53)	46 (42)	17 (17)	119 (112)

③入試方法別 受験者数

	総合型入試	同窓生推薦	学校・指定校推薦	杏文特待生	柔道特待生	一般入試	医療系	社会人	合計
令和8年度74期生	52	33	11	0	5	0		4	105
令和7年度73期生	41	31	26	2	5	0	0		105
令和6年度72期生	47	55	11	2	3	1	0		119

④月別 受験者数

	6月	7月	8月	9月	10月	11月以降	合計
令和8年度 74期生	10	16	36	5	26	12	105
令和7年度 73期生		15	14	19	39	18	105
令和6年度 72期生		25	34	18	28	14	119

⑤令和7年度学生募集活動

- ・オンライン学校説明会オンデマンド型配信を開始
- ・オープンキャンパスでのTJ unity (学生スタッフ) の育成・クロージング強化
- ・資料請求媒体 (マイナビ) の強化、請求数を増やし来校に繋げる
- ・ホームページでの動画コンテンツ強化
- ・SNS広告 (Instagram/TikTok の活用)
- ・リスティングによるWEBサイトアクセス数増加
- ・SEO対策強化
- ・指定校推薦枠の拡充
- ・デジタルマーケティングの活用
- ・高等教育無償化制度 (JASSO) の活用
- ・柔整トレーナーコース特待生制度 (入学金減免/授業料減免) の新設
- ・柔整トレーナーコース特待生対策講座の実施
- ・学生スタッフの活用 (学校説明会、動画作成等に積極的に活用)
- ・学生のスポーツ現場での活動を発信し、サイトやSNSで発信

3. 教育活動に関する事項

(1) 教学マネジメントの推進

- ・学校運営委員会を設置し、校長を中心とした教学マネジメント体制を構築
学校運営委員会の下に、教務委員会・教務ワーキンググループ・入試委員会・図書委員会を置き、役割を明確にした組織的な業務運用を開始
- ・教務課長による教務全体の統括
- ・組織での業務推進に必要な情報連携の導入（教務連絡会の体系的な運用、T e a m s による教務間情報共有の徹底）
- ・ディプロマ・ポリシー（卒業認定方針）を刷新し、方針に沿った教育活動展開に向けた中期目標の策定に着手
- ・アドミッション・ポリシーをディプロマ・ポリシーに沿うものに見直し
- ・教務の内容・運用に関する課題の抽出を行い、改善に向けた中期目標の策定に着手

(2) カリキュラム等の見直し

- ・学年単位制完成年度に向けた学則等の改正
- ・令和8年度からの臨床実習運用見直し準備（事前指導の強化、到達目標の見直し、デイリーノート等の導入）

(3) カリキュラム外の研修・実習等

- ・新入生研修（4月・7月）、2年生研修（7月）
- ・球技大会（4月）
- ・補習の実施（7月～2月）
- ・柔道昇段審査（7月）
- ・D r . トレーニング（8月～12月）
- ・トレーナーゼミ（9月～1月）
- ・氷川神社例大祭参加（10月）
- ・校内柔道大会（10月）
- ・解剖見学実習（11月）
- ・3年生国家試験研修（7月・1月、外部会場で実施）
- ・上級救命講習（同窓会、12月）
- ・超音波ハンズオンセミナー（同窓会、1月・2月）
- ・テーピング実技講習（同窓会、2月）

(4) 入学前教育の強化

1月 目 的：親睦を深める（アイスブレイク）

実施内容：テーマを決めてランダムにグループを作り、テーマに沿って意見を出し合い、その中からグループでそれぞれの意見を取り纏めて、グループとして発表する（1テーマにつき約10分間を8回転実施）

2月 目 的：お互いを知る（チームビルディング）

実施内容：ペーパータワー（6人1組×2回転）

A4用紙を各グループ30枚用意し、グループで話し合い、いかに高く自立した紙のタワーを建てることができるかを競うチームビルディング

入学前ガイダンスの実施

（5）国家試験対策

- ・模擬試験の実施
- ・国家試験出題基準別問題集の作成と配布
- ・補講授業の実施
- ・国家試験会場による直前模擬国家試験（7月、1月大正大学にて実施）
- ・自習、勉強会等での指導

[参考] 令和7年度柔道整復師国家試験 合格率

本校 現役 95.1%(98/103) 既卒 56.4%(22/39) 合計 84.5%

全国 現役 90.3%(2,692/2,982) 既卒 32.9%(478/1,452) 合計 71.5%

(令和6年度)

全国 現役 75.9%(2,419/3,188) 既卒 14.2%(188/1,325) 合計 57.8%

（6）学生支援

①学校生活サポート

- ・学年担任制の導入（1年生）
- ・学生面談の体系化（各担任による一次対応、教務課長・事務長を交えた二次対応）
- ・出欠、遅刻指導の徹底並びに保護者との情報連携強化
- ・ハラスメント相談窓口の設置
- ・合理的配慮に関する相談体制の整備（担任＋教務委員）
- ・研修先の紹介
- ・事務手続きの規則化と見える化（学生生活ハンドブックの一部改訂等）
- ・学生団体の新設（学生ボランティア団体）

②学校環境の整備

- ・校舎整備に伴う附属施設の改修及び運用の見直し

③就活サポート

- ・就職説明会開催（6月・2月）
- ・治験家体験ゼミの実施（9月～2月）

4. 教員に関する事項

(1) 教務の運用

- ・担当制の廃止（教科担当・実技担当）
- ・年度末教員会議開催、非常勤教員への情報共有並びに意見交換

(2) 教員研修等

- ・担当教科による自己点検（PDCA）シート作成
- ・関連団体研修・講習会参加（東京都専修学校各種学校協会、全国柔道整復学校協会、東京都柔道整復師会東京都委託講習会）
- ・外部研修参加（日本経営協会、リクルート）
- ・学会・学術大会参加（日本柔道整復接骨医学会、日本法医学会、日本解剖学会、日本柔道整復師会東京学術大会）

(3) その他教育活動に資する事項

- ・日本大学医学部客員研究員
- ・筑波大学医学医療系法医学研究員
- ・講道館指導員
- ・日本スケート連盟フィギュアスケート部門トレーナー
- ・東練馬リトルシニア（硬式野球クラブ）トレーナー
- ・COAST（車いすラグビーチーム）トレーナー
- ・国士舘大学陸上競技部トレーナー
- ・柔道グランドスラム2025コンディショニングサポート
- ・2025東南アジア競技大会（SEA Games）メディカルトレーナーサポート

5. 事業運営に関する事項

(1) 杏文塾

本校卒業生25名、うち受験者23名、合格16名

他校卒業生3名、うち受験者3名、合格2名

合計：26名、合格18名

合格率 69.2%（既卒者全国平均32.9%）

(2) 杏文柔道クラブ

週3回活動 小学生8名

以上